

おいらの エーデル

Oirano love edel vol.6

エーデル土山ショートステイ通信

いつもエーデルのショートステイ通信『おいらのエーデル』をご覧いただき、まことに有難うございます。気がつけば新年度がはじまっており、早くもゴールデンウィークでございます。世間は連休中でございますが、エーデルのショートステイは年中無休で頑張らせていただきます。これも当方のサービスを必要とされるご利用者の方がおられるからこそそのサービス提供であり、本当に有難うございます。そんな気持ちも込めまして、おいらのエーデル第6号をお楽しみください！



エーデルからのお知らせ。

『出張美容くひまわりくのお知らせ。』

多くの方からいただいております『ショートステイで散髪できないの?』という声にお応えして、出張美容ひまわりに来ていただくことになりました。希望の方がおられましたら一名からでも駆けつけてくれます！

移動美容者にはシャンプー台も完備。訪問美容師の三好さん&山本さんはヘルパーの資格保持者ですので安心して散髪をしてくれます。

エーデルではご利用者様が心身ともにリラックスしてもらえる環境を提供していきます。

ご希望の方はお気軽にショートステイ担当奥村までお声掛けください。

カット費用：二千円（税込）

『お出かけと買い物イベント』

ご利用者に満足してショートステイを楽しんでもらえるにはどうすれば・・・という思いから今年度は様々な企画を計画しております。その第一弾として『お出かけ&買い物』を実施致します。エーデル近くのローソンさんへの買物や、時間があれば送迎車で平和堂への買物も検討しています。普段あまり外出する機会のない方への楽しみや喜びづくりのお手伝いが出来ればと考えております。ご期待ください！

『カーネーション。』

もうすぐ母の日。日頃の感謝を込めてプレゼントを・・・と考えられておられる方も多いのではないのでしょうか。母の日といえば定番のカーネーション。エーデルでは今年も5月のイベントとして、カーネーション作りを計画しております。昨年度も非常に多くの方から、ご好評をいただきました。カーネーションを制作することで、ご家族との楽しい出来事を思いだしてもらえる機会になればと考えています。



奥村哲弥のコラム 第6回 『床屋の香り』

僕は少年のころ散髪が大嫌いだった。小学生の僕は当時、おやじが日曜日の休みになると、近所の理髪店につれていかれた。何が嫌かって、あの床屋独特の匂いである。シエービングやパーマの独特の香り。そしてひどく長い待ち時間。僕は本当に散髪屋が苦手だった。さらにひどいことに、床屋のおっちゃんが、昭和特有の『無口で頑固』な人だったから、もう堪らない。ちよつと体を動かしただけでも、『動くな』とよく叱られた。今考えると、一応僕は子供だけど客だったのに。当時は本当に怖くて何も言えなかった。

そんなある日、また僕は嫌な気分であの床屋に行かなければならなかった。気分が沈んだ僕には散髪の時間は恐ろしく長い。散髪をしてから数十分経つただろうか。僕は背中が痒くなりムズムズしていた。でも、散髪をしているのは例の無口なおっちゃんである。ここは我慢だ。でも少年の僕には散髪を終えるまで我慢できる忍耐力は残念ながらなかった。ついに体を大きく動かしてしまったのだ。でもおっちゃんは何も言わず、何事もなかったようにカットをし続けた。今日は叱られずにすんだ・・・と安堵した瞬間、おっちゃんは『おい、お前が動いたから、手を切ってしまった』と血が出た手を見せた。たった一言だけ言ってまた何事もなく散髪を続けた。なぜ散髪屋のおっちゃんが怒らなかつたのか当時はわからなかつたが、今は少しわかる気がする。それは僕に傷を負わずことなく自分の手を切つたからではないだろうか。プロにとって客に怪我させるのが一番のご法度のはずだ。おっちゃんは恐らく安堵したのかもしれない。つくづく昭和の香りのする床屋だった。